

逗子市総合計画基本構想 第3節改定（案）

1. めざすべきまちの姿(第3節 全体部分)

現行
<p>第3節 自然と人間を共に大切にすまち</p> <p>逗子を取り巻く自然は、海や、市街地の三方を囲む丘陵のみどりなどが良好な状態で残されています。この豊かな自然は、市民の暮らしに潤いを与えてくれます。</p> <p>わたしたちは、これからも、常に自然を守り、育み、地球に優しい持続可能な潤いのあるまちをつくり、自然と人間を共に大切にすまちの実現をめざして、この恵み豊かな環境を、次の世代へとつないでいきます。</p>
改定(案)
修正なし（自然環境に対する考え方は、今後も末永く次世代に引き継いでいくべきものとするため）

2. 取組みの方向(第3節 環境都市課個別施策部分)

現行
<p>3 温室効果ガス*排出の少ないまち</p> <p>地球温暖化の問題は、地球規模で取り組む課題です。</p> <p>その原因の一つである二酸化炭素を主なものとする温室効果ガスは、日常生活においても発生しています。低炭素社会*を実現するため、わたしたち一人ひとりのライフスタイルを見直し、身近なことから温室効果ガス排出量の削減を実践していきます。</p> <p>また、温室効果ガスの発生量の多い化石燃料から、地球環境への負荷が少ない再生可能エネルギー*への転換に努めます。</p> <p>わたしたちは、持続可能な社会を実現するため、温室効果ガス排出の少ないまちづくりを進めます。</p>
改定(案)
<p>3 <u>カーボンニュートラルを実現すまち</u></p> <p>地球温暖化の問題は、地球規模で取り組む課題です。</p> <p>その原因の一つである二酸化炭素を主なものとする温室効果ガスは、日常生活においても発生しています。わたしたち一人ひとりのライフスタイルを見直し、身近なことから温室効果ガス排出量の削減を実践していきます。</p> <p>また、温室効果ガスの発生量の多い化石燃料から、地球環境への負荷が少ない再生可能エネルギー*への転換に努めます。</p> <p>わたしたちは、持続可能な社会を実現するため、<u>2050年温室効果ガス排出実質ゼロの</u>まちづくりを進めます。</p> <p>（令和4年1月31日に「チャレンジ！逗子カーボンニュートラル2050」を宣言したことから、その考え方に合わせて修正するもの）</p>